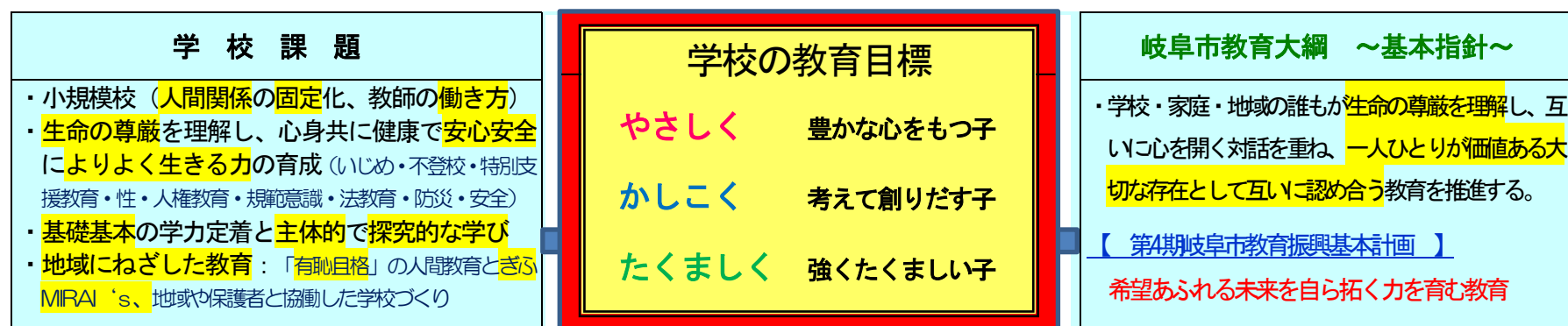




【願う子どもの姿】2040年の未来を創る

- 生命の尊厳を理解し、互いのよさや違いを認め合い、望ましい生き方ができる子
- 「有恥且格」の校名に誇りをもち、礼儀正しい言動と感謝の思いを表現できる子
- 勉強や読書、運動など様々なことに挑戦して、自ら逞しく可能性を広げる子
- 課題に気づき、仲間と力を合わせて考え、みなさんの幸せのために行動できる子

*たのしわれらの「且格っ子じまん」

- ◎なかまのよさを見つけます。◎にこにこあいさつをします。
- ◎若竹でなかよく遊びます。◎本をたくさん読みます。
- ◎元気いっぱい体を動かします。
- ◎自分たちで力を合わせて創り上げます。（プライド宣言）

【めざす学校像】

「やってみよう」

自分も幸せ！ みんなも幸せ！ 安心安全で 楽しい学校

【学校経営の重点】

AAR循環



「やさしく」 気づき

- ◎自己有用感を高め、望ましい人間関係を築き自分もみんなも幸せになる子の育成

＜特別活動・生徒指導・いじめ対策・人権＞

「自尊感情の醸成と望ましい人間関係の育成」

- 生命の尊厳への理解（いじめをしない、させない、許さない）と生命に感謝する心の育成

・日常的な人権教育の啓発

・自己を見つめ、他者と共によりよい生き方を選択・行動する指導（道徳性を育み道徳的実践力を育む、礼儀・感謝・規律・規範意識の醸成）

- 互いのよさや違いを認め合い支え合う心の育成（自己存在感・自己肯定感・自己有用感）

・異学年交流・学級活動・プチ自慢・よさみつけ

・一人一人が活躍し自己有用感をもつ役割（係・当番・児童会・行事）と場と見届け

「かしこく」 考え

- ◎探究を楽しみ、自他の成長（基礎基本の定着と汎用）を実感する子の育成

＜教科・道徳・総合・特別支援・ICT＞

「学ぶ必然を実感する将来に役立つ授業」

- 「学んでよかった」を実感する授業

・教材観、児童観、指導観の確立

・探究的な学びを促す導入（問題発見）

・探究の見通しと選択・自己調整（ICT、協働）

・成長の自覚と新たな課題等を生む省察

・学校・家庭・地域を往還（インプットによる基礎基本の定着と探究のアウトプット）

・ユニバーサルデザインの環境と支援

- 豊かな読書活動（若杉活動）の推進

- 地域の人・もの・ことにふれ、よりよい生き方を考える授業（ぎふMIRAI's）

「たくましく」 実行

- ◎心身ともに健康で、自分やみんなの幸せを考えて粘り強く行動する子の育成

＜健康・安全・キャリア教育＞

「健康安全な生活の習慣化と折れない心」

- 自分の生命を守る習慣づくり

・よりよい生活習慣の教育（早寝・早起き・朝ごはん、手洗い・うがい・歯磨き・食育、命と健康）

・生命の安全教育（性暴力の未然防止）

・判断力を高める防災教育と安全教育

・楽しい体力づくりと運動能力の向上

- 自分やみんなのために「やってみる」

・苦手なことやよいと思ったこと、みんな

で決めたことにねばり強く取り組む

・原三溪「無私心」 勤労奉仕・貢献

・キャリア・パスポート（社会的・職業的自立）

ぎふMIRAI's「ひと・もの・こと」を通して「生き方」を学ぶ

◎地域にねざした教育の推進 → 地域住民や保護者との「協働」による学校づくり ～学校評価アンケート等を生かした運営～

・コミュニティ・スクールの推進—地域講師、読み聞かせ、見守り隊、すくすく広場、環境～美化活動、放課後学びの部屋

・地域3大行事（灯籠まつり、市民運動会、日置江地域防災訓練）との連携

・幼・小・中の連携の強化—幼小連携会議及び授業観察、小学生と園児との交流会、小中一貫教育の推進と交流

＜学校経営の基盤＞

PTA 役員会 PTA 総務委員会

学校運営協議会 学校支援推進委員会
学校いじめ防止等対策推進会議（外部）

『自分も幸せ！みんなも幸せ！ 安心安全で 楽しい学校』になるための基盤

○安心・安全な学校

①いじめや不登校の未然防止

・「学校いじめ防止基本方針」に基づく対応と安心して学び生活できる学級経営（居場所、信頼できる大人・選択と行動）

・毎月3日「いじめを見逃さない日」

・鋭い人権感覚に基づく組織的対応

・「ここタン」「教育相談」「分かる授業」

「心の喜びアンケート」や「いじめアンケート」

②防災・安全教育（災害・学校事故防止）

③性暴力並びに不祥事の防止

（危機管理体制の強化・研修・指導）

○「ともに」高め合う教職員集団

①キャリアステージに応じた自己研鑽に努め、研修主事を核とした研修やOJTを通して互いに学び合う教職員。

②保護者や子どもの気持ちに寄り添い、誠意をもって親身に対応できる教職員。

③互いの立場を理解して支え合うとともに、「困った」が言える教職員。

④心身の健康に留意し、笑顔で子どもの前に立てる教師（働き方・働きがいの創出）

（17：30 留守電設定、教科担任・学校担任制、報告・連絡・相談、教育DX、精選と教育の質の向上）

○持続可能な家庭・地域との連携

①スクールボランティアスタッフと連携

「ほめほめルーム」「プチ自慢」

②PTAやコミュニティ・スクールとの連携（土曜日等の教育活動、地域行事の参加：まちづくり・人づくり）

③関係諸機関、SSW、SC、医療等との連携

④情報の収集と発信—ホームページ、学校便り、保護者・児童アンケート

⑤家庭と連携した教育の推進

（生活習慣・礼儀・挨拶・言葉・規範意識・勤労奉仕・家庭学習・読書など）

